

年月日	機関・基幹会議	取扱	担当
2024年7月24日	第3回理事会	報告事項	専務理事 中根
「これからの教育と研究～大学生協教員調査 2024」集計結果			

昨年に引き続き大学生協で本年 6-7 月に全国規模で、教員の皆様に「これからの教育と研究～大学生協教員調査」を実施しましたので、その回答の集計結果について報告します。

## ○「これからの教育と研究～大学生協教員調査 2024」実施報告

### 1. 調査概要

- ◇ 調査実施時期           2024年6月1日～7月15日
- ◇ 調査対象                全国(大学生協のある大学)の教員
- ◇ 回収数                 全国 1,804 名 うち県大 52 名・芸大 14 名(昨年 県大 38 名・芸大 9 名)
- ◇ 調査方法                Web アンケート
- ◇ 調査目的
  - 1) 講義のデジタル化や PC 必携化等、「学生の学び」の実態や変化を、教育サービスを提供する教員からの視点でつかむ。
  - 2) 今後「先生方の教育や研究を支える」「学生の学びを支える」大学生協としてどのようなサービスやサポートを提供できるか、議論や検討を行う。
  - 3) 店舗での品揃えや全国規模の商品企画、仕入交渉などに活かし、よりよい商品やサービスの提供を行うことに活用する。

### 2. 集計結果

#### ◇ 基本情報

研究分野	人文・社会・教育 関連	理・工・農 関連	医・歯・薬・健康 関連
県大	57.7%	15.4%	26.9%
芸大	92.9%	0.0%	7.1%
全国	39.2%	41.9%	18.9%

先生の年齢	20～30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
県大	15.4%	15.4%	48.1%	0.0%
芸大	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
全国	14.9%	28.7%	35.4%	0.0%

#### ◇ 授業について

授業担当	授業を担当している	授業はない
県大	94.2%	5.8%
芸大	100.0%	0.0%
全国	91.6%	8.4%

担当授業コマ数	最大値	最小値	平均値
県大(回答数)	21	1	5.19
芸大(回答数)	18	5	9.93
全国(回答数)	50	0	4.71

▶ 特に芸大の先生は担当される授業コマ数が多いようです。

LMS利用	よく使う	時々使う	使わない
県大	49.0%	34.7%	16.3%
芸大	14.3%	14.3%	71.4%
全国	56.8%	24.3%	18.9%

LMS利用状況		よく使う	時々使う	使わない
県大	授業の出席確認	43.9%	29.3%	46.3%
	授業教材などの提示	53.7%	36.6%	29.3%
	課題の提示	65.9%	29.3%	24.4%
	課題の提出	63.4%	29.3%	26.8%
	小テスト	12.2%	26.8%	80.5%
	オンデマンド授業(動画)の配信	7.3%	0.0%	0.0%
芸大	授業の出席確認	25.0%	25.0%	300.0%
	授業教材などの提示	50.0%	50.0%	250.0%
	課題の提示	50.0%	25.0%	275.0%
	課題の提出	50.0%	0.0%	300.0%
	小テスト	0.0%	0.0%	350.0%
	オンデマンド授業(動画)の配信	25.0%	0.0%	0.0%
全国	授業の出席確認	40.0%	17.3%	66.0%
	授業教材などの提示	78.0%	19.6%	25.7%
	課題の提示	72.7%	22.2%	28.4%
	課題の提出	70.2%	21.7%	31.3%
	小テスト	23.9%	21.9%	77.5%
	オンデマンド授業(動画)の配信	27.4%	36.5%	59.4%

▶ LMS は県大では授業の教材や課題などである程度使われているようですが、芸大では使う頻度は少ないようです。

対面授業のデバイス持ち込み	積極的に使ってもらいたい	学生が自身で利用したいなら使えばよい	どちらともいえない	あまり良いとは思えない
県大	32.7%	53.1%	14.3%	0.0%
芸大	28.6%	50.0%	21.4%	0.0%
全国	43.9%	42.4%	10.4%	3.3%

▶ 授業でのデバイス持ち込みは、県大も芸大も「学生が自身で利用したいなら使えばよい」という意見が多いようです。

#### ◇ 学生の生成 AI に利用について

生成AIサービスを利用している学生の割合	20%未満	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%
県大	24.5%	6.1%	20.4%	8.2%	22.4%	8.2%	2.0%	4.1%	4.1%	0.0%
芸大	64.3%	0.0%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
全国	28.7%	9.5%	16.8%	7.7%	16.8%	5.9%	5.1%	5.6%	2.4%	1.6%

  

生成AI利用について望まれる利用度合	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
県大	0.0%	6.1%	32.7%	4.1%	22.4%	8.2%	6.1%	10.2%	0.0%	0.0%
芸大	0.0%	7.1%	21.4%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全国	0.0%	7.3%	12.2%	4.9%	22.9%	7.6%	7.9%	9.9%	1.5%	0.0%

▶ 生成 AI サービスを利用している学生の割合は県大では割と多く、芸大では割と少ない傾向にあるようです。また、学生の生成 AI 利用について望ましい利用度合いは 3 割～5 割と回答している先生が多いようです。

◇ 教科書について

指定している市販教科書	市販の教科書を使用している授業が多い	市販の教科書を使用している授業が少ない	市販の教科書は使用していない
県大	44.9%	32.7%	22.4%
芸大	35.7%	7.1%	57.1%
全国	46.4%	27.2%	26.4%

➤ 県大は「市販の教科書を使用している授業が多い」と回答している先生が多く、芸大は実技などが多く市販の教科書は使用していない先生が多いようです。

指定教科書の使用頻度	授業内で毎回使う	授業内ではときどき使う	授業内では参考程度に閲覧する	授業内ではほとんど使わず紹介程度
県大	71.1%	21.1%	5.3%	2.6%
芸大	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
全国	52.8%	26.4%	15.2%	5.6%

市販教科書以外何をを使うか	自作プリントを紙で配布	自作プリントのPDFデータを共有	自作スライド表示	板書	WEBページ	動画コンテンツ	公開されているジャーナル/論文
県大	10.2%	14.3%	12.2%	4.1%	0.0%	0.0%	2.0%
芸大	21.4%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
全国	10.9%	15.0%	19.5%	6.8%	3.3%	5.3%	3.9%

➤ 市販教科書以外では、自作プリント(紙で配布・データ共有)、自作スライド、公開されている論文などを利用している先生が多いようです。

市販教科書使わない理由	授業に適したものが存在しない	部分的に使いたいだけ	価格が高い(学生の負担が大き)	絶版になっている	内容が良い/最新の情報・知見が足りない
県大	0.0%	14.8%	11.1%	0.0%	7.4%
芸大	66.7%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
全国	24.7%	8.8%	8.7%	0.9%	1.9%

書籍の内容の困りごと	内容についての市販の教科書がない	1冊で網羅する基本書がない
県大	なし	なし
芸大	50.0%	66.7%
全国	52.5%	57.5%

使い切れない困りごと	理解度に適した内容の教科書がない	価格を考えると割高
県大	50.0%	50.0%
芸大	50.0%	50.0%
全国	46.5%	52.2%

電子教科書の採用に興味	すでに電子教科書を採用している	電子教科書に興味がある	どちらともいえない	電子教科書には興味はない
県大	2.0%	40.8%	34.7%	22.4%
芸大	0.0%	28.6%	35.7%	35.7%
全国	3.8%	34.2%	39.1%	22.9%

大学生協コンテンツサイトの存在	当該の電子教科書のコンテンツリストを見たことがある	当該の電子教科書の取扱いについて知っている	当該が電子教科書の取扱いしていることを知らない
県大	6.1%	30.6%	40.8%
芸大	7.1%	7.1%	50.0%
全国	10.3%	34.1%	55.2%

学生にとっての電子教科書採用メリット	次の授業の課題が分かりやすい	いつでも持ち歩けるのでどこでも学習できる	先生のコメント(指示)が受け取れる	簡単にできるもので、必要なことが目に見える	メリットはあまりよくわからない
県大	6.1%	57.1%	0.0%	24.5%	16.3%
芸大	7.1%	35.7%	7.1%	21.4%	21.4%
全国	8.3%	53.8%	6.9%	22.8%	16.8%

教員にとっての電子教科書採用メリット	授業のデザインを早く・簡単に修正・変更しやすい	学習履歴がわかる。学生の進捗の把握がしやすい	ログ閲覧機能があり、授業計画を効率的にしやすい	授業で使用する資料・教材を共有できる	LMSから電子教科書へスムーズにアクセスできる	メリットはあまりよくわからない
県大	16.3%	10.2%	10.2%	18.4%	18.4%	26.5%
芸大	21.4%	21.4%	21.4%	35.7%	28.6%	14.3%
全国	20.5%	14.3%	8.1%	18.3%	20.1%	30.0%

電子教科書ハードル	先生が教員側のデバイスがないまたは古い	学生が授業のためにデバイスを購入すること	適当なコンテンツがない	電子と紙両方の教材があれば利用したい	先生方への技術的なサポート	学生の対応やサポートの窓口	授業方法を変える必要がある
県大	2.0%	26.5%	42.9%	8.2%	14.3%	16.3%	10.2%
芸大	0.0%	28.6%	50.0%	0.0%	21.4%	14.3%	7.1%
全国	5.3%	25.3%	34.8%	7.7%	15.9%	13.6%	18.6%

➤ 電子教科書は学生がいつでも持ち歩ける、教科書に書き込める、LMS からのアクセスができる、というメリットを感じつつも、適当なコンテンツがない、デバイスを学生に購入させること、先生や学生へのサポートが必要なことにハードルに感じている先生が多いようです。

電子教科書採用検討について	思う	どちらともいえない	思わない	すでに電子教科書を採用している
県大	46.9%	28.6%	2.0%	0.0%
芸大	35.7%	28.6%	0.0%	0.0%
全国	31.2%	36.6%	6.2%	1.3%

#### ◇ 教員の生成 AI の利用について

現在利用している生成AIサービス	生成AIは利用していない	ChatGPT/GPT4	Copilot	Gemini (旧Bard)	画像系生成AI	大学/研究機関内生成AIシステム
県大	75.5%	24.5%	8.2%	6.1%	4.1%	2.0%
芸大	64.3%	35.7%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
全国	52.0%	41.7%	13.2%	5.3%	4.9%	1.1%

生成AIの研究利用について	研究情報をプロンプトに利用できない	大学・研究・関連団体による規制がある	購入方法が面倒	研究費での利用が行えない	AIの学習がまだ行われていない
県大	12.2%	4.1%	8.2%	2.0%	55.1%
芸大	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%	64.3%
全国	14.3%	4.3%	12.6%	9.0%	41.6%

生成AIの研究用途について	全文検索エンジンの代替として	要約	翻訳	プログラミング補助	アイデア出し	試験問題作成	生成AIの回答をサンプルとして利用
県大	18.4%	28.6%	51.0%	14.3%	24.5%	2.0%	10.2%
芸大	28.6%	21.4%	85.7%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%
全国	29.0%	31.8%	53.2%	20.4%	29.5%	8.8%	14.9%

➤ 県大も芸大も生成 AI を利用している先生はまだそれほど多くないようですが、利用している先生は検索、要約、翻訳、アイデア出し、など多岐にわたるようです。

#### ◇ 研究費について

研究費: 生協でよく購入する	物品	書籍	出張	生協はほとんど利用しない
県大	51.9%	53.8%	5.8%	15.4%
芸大	71.4%	50.0%	7.1%	21.4%
全国	72.8%	51.2%	6.4%	11.3%

生協で購入する理由	納期	安価だから	必要なものがあるから	研究室から近いから	送料が安いから	発注しやすい	時間を要せず済ませられる	会計処理がスムーズ	アフターフォロー	担当者の来訪・人柄	見積が簡単にとれるから	送料が安いから
県大	9.6%	19.2%	17.3%	17.3%	9.6%	44.2%	7.7%	34.6%	3.8%	0.0%	7.7%	0.0%
芸大	0.0%	14.3%	21.4%	35.7%	21.4%	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%
全国	13.7%	13.8%	17.7%	39.6%	12.3%	51.7%	9.1%	42.8%	8.3%	9.4%	15.7%	3.2%

生協以外で購入する理由	納期	価格	送料が無料か送料が安い(送料が安い)	大学・研究資料・教職員からの授業	発注しやすい	時間を選ばず利用できる	会計処理がスムーズ	アフターフォロー	担当者の来訪・人柄	購入の選択肢の自由がない
県大	17.3%	40.4%	50.0%	7.7%	19.2%	7.7%	3.8%	1.9%	0.0%	1.9%
芸大	50.0%	57.1%	57.1%	21.4%	28.6%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%
全国	26.7%	43.6%	57.4%	4.8%	30.3%	21.2%	12.0%	5.0%	7.0%	3.9%

- 生協でよく購入するものとして、物品や書籍が挙げられていますが、芸大は生協をほとんど利用しない先生も少し多いようです。
- 生協で購入する理由としては「発注しやすさ」や「会計がスムーズ」がかなり多いようです。
- 一方、生協以外で購入する理由として、納期や価格、品揃えなどが多いようです。

◇ 学生に大学入学前に取り組んでほしいもの

入学前に取り組んでほしいもの	語学学習	読書	日記や文章作成	PC・ネットリテラシー	パソコンスキル	スポーツ・体カづくり
県大	42.3%	9.6%	32.7%	1.9%	32.7%	7.7%
芸大	35.7%	28.6%	28.6%	14.3%	35.7%	7.1%
全国	40.3%	19.2%	27.4%	11.0%	35.7%	8.8%

- 大学入学までの高校生活を十分に楽しんでほしいと考えている先生が多いようです。
- 一方、大学入学前に語学学習、読書、PC・ネットリテラシー、パソコンスキル習得などに取り組んでほしいと考えている先生も多いようです。

◇ 自由記述欄

授業を進めるにあたって生協にサポートしてほしいこと、あったらよいと思うサービスはありますか
<県大>
PC メンテナンス。売りっぱなしでは、問題があるのでは？
教科書・参考書の候補選定
中古テキストの販売
既存の複数巻の教科書(同じシリーズ、同じ出版社)を組み合わせカスタマイズした教材を使いたい、可能性、権利の面、価格に関し、出版社と交渉する窓口になっていただけるとありがたい
<芸大>
画材を取り扱ってほしい
オンデマンド印刷を割安で提供していただけると、配布資料をまとめて冊子で学生向けに安価に販売できて助かります。

対面授業で、学生がデバイスやデジタルコンテンツを持ち込んで授業中に利用することについて、どのように思われますか、の理由
<県大>
moodle で出席をとらせてもらっているのでこの点では、活用を依頼しています。他には見にくいカラー資料の提示などに使用しています。使用の内容については、把握できていませんが、その場で記入してくれるのでこちらの目的には、合わせてくれていると思います。
授業(研究演習)で受講生が予習した内容を、事前に Microsoft Forms のアンケートフォームで入力してもら

い、授業内ではそれを受講生が相互に閲覧しながら、グループディスカッションをおこなうので、電子デバイスの持ち込みはむしろ「必須」となっています。
資料検索でたまに使うから
自分がわからない言葉などをその場で調べられるのは良いと思う。
授業スライドは前のページに戻って確認したり、理解している箇所は先に進んで予習することもできる。また授業で出てきた専門用語等もネット検索ですぐに確認できる。
積極的に利用することで、その長所と短所もよく理解して欲しいので。
良いとも悪いともどくに何とも思わない。授業をどう受けるかは学生の自由。教員がどうこう言う問題ではない。
自分の学びに必要であれば、使用すれば良いと思います。
学生のメモ取り方・表示は個人的な好みに従えばより効果的に進めたいので
ペーパーレスになるべき
授業の内容・運営方法と使い方次第である。
学習効果が上がると思うのでよい。
学習効果が上がると思う学生が使用していく
理解を助けるものは積極的に利用して欲しい
授業中のコミュニケーション手段として効果的
ノートを取らない学生が増えているので、パソコンでもよいので授業のメモを取ればよいと思うから
ノートテイキングが困難な学生のPC利用など、利用で授業に参加しやすくなることがあるため。
本音はスマホなどがあると集中できないから講義中ぐらいカバンの中にしまうのが良いと思います。講義時間を大切にしたい方は良いとは思いますが、ですが彼らの人生、生活ですからご自由にと考えています。
一斉に使用するのであればよい。例えば、「では皆さん、各自スマホを出して、このページにアクセスして〇〇を見てください…」というように、教員の側からの指示で使うのはよい。しかし、ノートパソコンやスマホを学生が適宜見ている場合は、多くの場合、授業に関係ない画面を見ていることが多い。
本当は小テストに利用したいが、受験の際、外部サイトを参照している可能性を否定できず、デバイスの利用はあくまでもテスト以外の授業中となるため、授業に関係ない利用をしていても個人の判断に委ねている
学部上級生や大学院生であれば積極的に使ってもらいたいです。が、新入生ややる気がない学生が集まってしまった場合は遊んでいるのか判別が付きにくく悪い習慣づけとなってしまうのではないかと危惧します。
学習に一定の効果があると考えられる一方で、授業とは別の利用をする可能性があるから。
こちらで準備した内容に集中してもらいたい。
全員に義務的に使わせるのは、適切でないと考える
<芸大>
私自身がデータ共有をしたいから。
映像による反復学習では効果が上がると思う。学生が必要とするのであれば利用するとよい。
学習効果が上がるなら積極的に活用してほしい。
履歴が残り、復習に適しているから
授業中の機器の利用は、授業と直接関係があるのかどうか分からない。逆に教員の話の聞いていないようにも見える。学生が利用したいなら、使えばいい。

授業中にデバイスやデジタルコンテンツを使う機会がない
実技主体の授業であるため。
語学では辞書アプリ等を積極的に利用させたい反面、博士前期課程入試で持ち込める辞書は(不正防止の観点から)紙辞書のみなので、平常の語学学習は紙媒体利用にせざるを得ない。
講義内容に関係する調べごとなのか、SNS を見ているのか判別しにくい。

授業に使用している機材や役に立っている物品やソフトウェア・アプリ・Web サービス等あれば教えてください
< 県大 >
自分が執筆している教科書を使用している
電子辞書
電子黒板 出版社のストリーミングサービス
TechFUL
PowerPoint, Mathematica, MATLAB
miwo(くずし字アプリ)
Moodle
パワーポイント(授業スライド作成で利用), Python と C 言語(プログラミング・実験で利用), Google Colaboratory(全員共通の環境でお手軽にプログラミングが無料で利用)
Teams・PowerPoint・Kahoot・Zoom
Microsoft Teams、Microsoft Forms
< 芸大 >
デザイン系のアプリケーション
教科書、配布資料、参考資料として国会デジタルコレクションやオンライン上のデータベース、博物館等の公式 YouTube チャンネルなど。
YouTube、Naxos Music Library
Petrucci Library, YouTube 等

大学に入学する方に伝えたいことを記入ください
< 県大 >
入学前にパソコンの使い方を覚えておくとよい。
何のために大学へ行くのか目的のない人は行っても仕方がない
理系に限らず、高校までの数学の内容をよく理解しておくこと
大学は待っているだけでは与えてくれないことを理解すべし。
ジャンル問わず本を読む習慣を身につけてほしい。
情報機器をスムーズに扱えるようになってほしい。
健康な心身が勉強に取り組むために重要なので体力作りを行なってほしい。
オンラインで書かれたことを鵜呑みするな！
日本語以外の情報を相互参照しないと正しい答えは出ないかも！

私語は他の学生の学習妨害であることを肝に銘じること
世の中の仕組みを知る好奇心は絶やさずに／高めて入学して欲しい。
大学での学修にはパソコンが必須であること。タブレットでは対応できないのか？ということ、わざわざ大学教員に尋ねてこないでほしい(タブレットのメリットデメリット、ノートパソコンのメリットデメリットなどは、自分の頭で考えて判断してほしい。鉛筆が良いのかシャープペンシルが良いのかと同等の質問であることを理解するべき。)
<芸大>
大学入学までの高校生活を十分に楽しんでほしい

以上